

令和6年度 障がい者在宅施設敬仁会館事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ（入所・在宅共通）

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ① 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ② 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ③ 施設機能の活用による地域貢献・社会貢献の実践
- ④ 働き甲斐のある職場作り

3. 実施事業

（１）就労継続支援Ｂ型

- | | |
|---------------|---------|
| ① ワークサポート敬仁会館 | 定 員 ４０名 |
| ② ワークサポートあしたば | 定 員 ２０名 |
| ③ ワークサポート琴浦 | 定 員 ２０名 |

（２）就労移行支援

- | | |
|---------------|--------|
| ① ワークサポート敬仁会館 | 定 員 ６名 |
|---------------|--------|

（３）共同生活援助（グループホーム）

- | | |
|---------------|---------|
| ① グループホーム敬仁会館 | 定 員 ６０名 |
| ② グループホーム琴浦 | 定 員 １０名 |

4. 重点目標

抱負・目標

- ① 利用者の人権を尊重し「きめ細かな支援と専門性のある良質なサービス」を提供する。
- ② グループホームは共同生活を通じて、一般就労含む日中活動先と連携して、生活援助サービスを提供する。
- ③ 就労支援事業は生産活動を通じ、就労に必要な知識・能力向上のための訓練指導、就労に関する相談支援を実施する。
- ④ 就労支援事業・共同生活援助事業（GH）の明確な稼働目標を設定し、良質なサービスの根幹である安定経営を目指す。
- ⑤ ICT技術による業務効率化を行い業務負担の軽減を図る。（ケア記録等）

（１）人材育成と職場定着

- ① 安定した施設運営をするため、会議・研修を通じて後継者育成を図る。またICT技術による業務効率化を進め職場環境の改善を目指す。
- ② 面談や身上報告書等を活用し、労務管理（有給取得・残業減）や労働環境（ハラスメント防止と風通し良い職場）等に取り組む、また職員満足度の向上（身上報告書より「仕事の満足度」「職場環境」を80%以上）を目指す。

- ③ 全職員 1 回以上の外部研修に参加し専門性の向上に努める。

(2) 利用者へのサービス提供

- ① 居住環境・作業環境やルールの見直しするとともに、事故防止を徹底し安心安全なサービスを提供する。
- ② 生きがい・働きがいを感じる作業環境と工賃確保含む支援を充実する。(月額: WS敬仁18,000・WSあしたば24,000・WS琴浦17,000以上)
- ③ GHにおいては、余暇活動を充実し利用者満足度を高めるため、様々なレクリエーション活動で精神状態の安定を提供する。

(3) リスク対策(感染・安全・災害等)

- ① 各種防災や感染症等への対策を強化し、訓練・研修等による利用者及び職員の意識高揚を図り、徹底した安全管理に努める。また、定期的に作業工程の確認・見直しを実施し安全に作業ができるようご利用者・職員に周知する。
- ② 平常時から感染対策を実施しながら、ご利用者が楽しめるイベントの開催に努める。また、定期的に感染対策等の研修の実施と定期的な見直しを実施する。

(4) 施設・設備整備

- ① ICT技術を導入し部署間連携、記録、請求業務の効率化し負担軽減を図る。(R6.6以降)
- ② 利用者の生活環境改善・作業生産性向上対応のための設備整備を優先するとともに施設内外の環境美化に努める。

(5) 地域連携・社会貢献

- ① 見学実習の積極的な受入れ(オンライン活用含む)で障がい福祉教育の一翼を担う。
- ② 広報紙・ホームページを充実し地域へのタイムリーな情報配信する。(全体広報紙年4回(4、7、10、1月)、各事業の機関紙年4回)

(6) 経営管理

- ① 稼働目標及び経営数値目標達成の為、関係機関との連携と地域ニーズの分析を行い柔軟に対応するとともに、役職者が経営参画の意識を高める。
- ② ムリ、ムダ、ムラをなくし、安全かつ効率的な運営を実施する。関係機関と連携し待機者の確保と同業他事業所の情報収集。(常時2名以上の待機者確保)

5. 新規事業

新規事業無し

令和6年度 障がい者入所施設敬仁会館事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ（入所・在宅共通）

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ① 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ② 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ③ 施設機能の活用による地域貢献・社会貢献の実践
- ④ 働き甲斐のある職場作り

3. 実施事業

（１）障害者支援施設

- | | |
|----------|---------|
| ① 施設入所支援 | 定 員 60名 |
| ② 短期入所 | 定 員 5名 |
| ③ 生活介護 | 定 員 80名 |

（２）特定相談支援事業所

- | | |
|-------------------|-----|
| ① 障がい者サポートセンター 敬仁 | 88名 |
|-------------------|-----|

4. 重点目標

抱負・目標

- ① 地域における障がい者入所施設の役割として、中重度知的障がい者の受け入れと強度行動障がいの方の受け入れを行い「きめ細かな支援と専門性のある良質なサービス」を提供する。
- ② 高齢障がい者は、高齢者施設への移行をすすめ、個々の利用者に適した生活環境への橋渡し役となる。
- ③ 入所・生活介護事業の明確な稼働目標を設定し、良質なサービスの根幹である安定経営をめざす。
- ④ 相談事業所、通所事業所と連携し、在宅利用者の家庭環境に合わせた短期入所利用の活用を促進する。（将来起こりえる課題への対応）
- ⑤ I C T技術による業務効率化を行い業務負担の軽減を図る。（ケア記録等）

（１）人材育成と職場定着

- ① 安定した施設運営をするため、会議・研修を通じて後継者育成を図る。また I C T技術による業務効率化を進め職場環境の改善を目指す。
- ② 面談や身上報告書等を活用し、労務管理（有給取得・残業減）や労働環境（ハラスメント防止と風通し良い職場）等に取り組む、また職員満足度の向上（身上報告書より「仕事の満足度」「職場環境」を80%以上）を目指す。

③ 全職員 1 回以上の外部研修に参加し専門性の向上に努める。

(2) 利用者へのサービス提供

- ① 利用者の「生きがい・楽しみ」を追求した日課やイベント・レクその他、スポーツ活動・個別支援外出の充実によるサービスを提供
- ② 強度行動障害がいの課題行動へ適切に対応し本人らしく生活できる環境を設定し良質なサービスを提供する。
- ③ 高齢化・重度化が進む利用者に、OTレクリエーション・口腔ケアを通じて身体の健康維持と疾病予防に繋げたサービスを提供する。

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

- ① 各種防災や感染症等への対策を強化し、訓練・研修等による利用者及び職員の意識高揚を図り、徹底した安全管理に努める。
- ② 平常時から感染対策を実施しながら、ご利用者が楽しめるイベントの開催に努める。また、定期的に感染対策等の研修の実施と定期的な見直しを実施する。

(4) 施設・設備整備

- ① ICT技術を導入し部署間連携、記録、請求業務の効率化し負担軽減を図る。(R6.6以降)
- ② 2階西側スペースを強度行動障がいの方を受入れるため、リニューアルを行う。
- ③ 計画的にエアコンクリーニングを実施し快適な居室環境を提供する。(年間8カ所/6年計画)

(5) 地域連携・社会貢献

- ① 見学実習の積極的な受入れ（オンライン活用含む）で障がい福祉教育の一翼を担う。
- ② 広報紙・ホームページを充実し地域へのタイムリーな情報配信する。(全体広報紙みちしお年4回(4、7、10、1月)、生活介護便り年12回)

(6) 経営管理

- ① 稼働目標及び経営数値目標達成の為、関係機関との連携と地域ニーズの分析を行い柔軟に対応するとともに、役職者が経営参画の意識を高める。
- ② ムリ、ムダ、ムラをなくし、安全かつ効率的な運営を実施する。関係機関と連携し待機者の確保と同業他事業所の情報収集(常時2名以上の待機者確保)

5. 新規事業

* 新規事業無し